

病院の実力 読売新聞2022年8月21日

2022年8月21日 読売新聞 病院の実力

（第3種郵便物認可）

便潜血検査 毎年受けて

今回は、がんの部位別で最も患者が多い大腸がんを取り上げる。早く見つけて治療すれば治る可能性が高いが、進行するまで症状に気が付きにくい。大阪急性期・総合医療センター（大阪市住吉区）の賀川義規・消化器外科副部長に治療法などを聞いた。

（東礼奈）

大腸がん

病院の実力 *大阪編171

大阪急性期・総合医療センター
賀川義規・消化器外科副部長

治療の選択は、まず、肛門から内視鏡を挿入する内視鏡治療と、手術でのがんの切除を検討します。

良性子ポリープや早期がんの場合は、内視鏡で治療できます。進行している時は、腹部に数か所の穴を開けて行う腹腔鏡による手術が主流となっています。

近年では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使って、腹腔鏡と同じように腹部に



「便潜血検査や内視鏡検査を積極的に受け、大腸がんの早期発見につなげてほしい」と話す賀川副部長（大阪市住吉区）

穴を開けて行う手術が増えています。今後ダヴィンチが主流になる見通しです。当院でも、いち早く2012年から直腸がんの手術を行っています。抗がん剤や分子

標的薬などで進行を抑える戦略を取ります。

患者が多い要因は、牛、豚、羊などの肉や、ソーセージなどの加工肉、アルコールといった食事と、デスクワークによる運動不足などが影響している可能性があります。生活様式の欧米化といわれるものです。欧米では高齢の患者数は横ばいですが、40〜50歳の若い世代の患者が問題になりつつあり、日本でも同じ傾向にならないか懸念されています。

早期発見のかきは、検査が何より重要です。40歳以上は毎年「便潜血検査」を受けましょう。症状がない早期の段階で見つければ内視鏡治療で切除できます。便潜血検査が陽性でも腸炎や憩室炎、痔、良性ポリープなどの可能性もありますが、まずは内視鏡検査

手術件数の多さは指標になりません。患者さんの病状や体力、生活に応じて必要な治療が受けられるよう、放射線治療や化学療法、がんゲノム医療なども組み合わせ対応できる病院が望ましいと考えます。手術までの待機期間と、術後の平均入院期間の短さも目安になるでしょう。

腹腔鏡手術 最も普及

大腸は結腸と直腸に分かれる。一覽表には手術や内視鏡治療の件数を示した。

手術は開腹、腹腔鏡、手術支援ロボットに分類される。最も普及しているのが腹腔鏡で、腹部に開けた数か所の穴から、先端にカメラが付いた器具などを入れ、操作する。開腹よりも傷が小さいことから痛みが少なく、術後の回復も早い。

手術支援ロボットのダヴィンチによる手術も広がっており、直腸がんは2018年4月、結腸がんは今年4

月、公的医療保険が利くようになった。ロボットを使うことで、手ぶれがなく、先端が曲がる専用器具により細かい動きを再現しやすさ。一方、扱う医師の習熟度には差があり、開腹や腹腔鏡に比べて時間が長くなりやすいとのデメリットもある。手術後の長期的な安全性や有効性の検証が課題となっている。

病院の実力「大腸がん」 医療機関別2021年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術		
	総数 (件)	うち腹腔鏡 (件)	うち直腸がんの口ポット支援手術 (件)
大阪府			
大阪急性期・総合医療セ	265	184	67
大阪赤十字	241	179	54
関西医大	224	193	0
大阪医科薬科大	220	141	72
近畿大	220	136	48
大阪大	202	145	51
大阪労災	199	128	50
大阪警察	191	108	34
堺市立総合医療セ	187	149	33
国・大阪医療セ	169	136	24
ペルランド総合	159	93	41
守口敬仁会	154	139	0
市立豊中	152	96	46
市立東大阪医療セ	149	85	44
大阪公立大	137	111	24
八尾市立	135	130	5
済生会中津	132	127	3
淀川キリスト教	124	80	33
府中	120	47	41
りんくう医療セ	111	87	0
市立池田	105	95	0
JCHO大阪	104	101	0
市立吹田市民	98	82	5
済生会吹田	90	80	0
市立貝塚	89	61	0
箕面市立	88	53	18
風胃腸	73	70	0
関西医大総合医療セ	71	64	0
大阪鉄道	69	59	0
松下記念	64	56	0
耳原総合	63	59	0
住友	61	41	12
市立岸和田市民	56	50	0
高槻	54	37	0
第一東和会	53	45	0
日本生命	52	47	0
関西医大香里	43	41	0
高槻赤十字	43	38	0
北摂総合	41	40	0
浅香山	35	20	0
清恵会	20	3	0
大阪市立十三市民	17	15	0
大阪中央	16	14	0

「国・」は国立病院機構、「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「一」は無回答または不明。※腺腫含む。

全国の調査結果は17日の「安心的设计面」に掲載しました。